

## 巻 頭 言



高知県知事 尾崎 正直

# 世界に開かれた高知を目指して

高知県にお住まいになっている外国籍の方は年々増加しており、国籍や民族などが異なる人々が文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら共に生きていく「多文化共生の地域社会づくり」は、近年ますます重要なものとなっています。また、2016年度にスタートした「第3期高知県産業振興計画」では、「海外への輸出の本格化」、「国際観光の推進」を重要な施策として位置づけており、地域経済の活性化のためにも、海外との交流は必要不可欠なものと考えているところです。こうした中、本県では海外の国や地域とさまざまな分野にわたり友好交流・経済交流を実施しており、それらを戦略的に進めることで、地域の国際化や経済の活性化につなげてまいりたいと考えています。

これまで、本県では、フィリピンベンゲット州（1975年）、中国安徽省（1994年）、韓国全羅南道（2016年）の3つの海外の自治体と姉妹・友好交流提携を締結し、青少年や福祉分野などでの人的交流をはじめ、農林業、観光分野での産業交流などさまざまな分野に裾野を広げて交流を深めてまいりました。

最近では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン相手国として登録された、キルギス、トンガ、シンガポール、オーストラリア、チェコ、オランダ、ハンガリーの7か国と、事前合宿やスポーツの交流だけでなく、文化、教育などさまざまな分野における交流を市町村と連携しながら進めているところです。

また、本県の特徴を生かした交流として、高知発祥の「よさこい祭り」を世界各国で普及・発信いただいているチームの代表を「よさこいアンバサダー」として本県が公式に認定し、それぞれの国で活動していただくなど、「よさこい」を通じた交流を行っているほか、2017年に台湾新竹県と「まんが交流覚書」を、2018年に韓国京畿道富川市と「まんが交流協定」を締結し、「まんが」を通じた交流も行っています。

加えて、新たな取り組みとして、2018年5月に、太平洋島嶼国の16の国・地域と日本の14自治体の国際交流を推進するためのネットワークが設立されました。本県は日本地方自治体の代表となっており、今後、それぞれの地域の特色を生かした国際交流・国際協力の取り組みを展開していく予定です。

このような、海外との連携やさまざまな分野における交流により、互いに発展しあう関係づくりを目指すとともに、県民の皆さんと一緒に国際交流を進めていくことで、地域の発展に寄与してまいりたいと考えております。